

2018年(平成30年)7月18日

## 輸送動向について(平成30年度第1-四半期)

### 1. 輸送概況

第1-四半期は、5月中旬に発生した秋田地区での大雨、6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震の影響等により、高速貨233本が運休となった(前年は、高速貨102本が運休)。

コンテナは、積合せ貨物が労働力不足に伴って鉄道へのシフトが進み、関西発を中心に好調に推移したほか、自動車部品が国内の自動車生産が堅調なことから、東海・九州発で荷量が増加した。また農産品・青果物は九州産玉葱が順調に生育し出荷が旺盛となったこと、食料工業品はビールの共同輸送が進み、砂糖が増送となったこと、エコ関連物資は焼却灰や建設発生土が順調な発送となったことから、それぞれ前年を上回った。

一方、紙・パルプは国内需要の減少に伴う生産体制見直し等も影響し、出荷が大きく落ち込んだほか、化学工業品は生活用品や合成樹脂が低調な荷動きとなったことから、前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比99.6%となった。

車扱では、石油が4月の気温が前年より高く推移したことに伴って灯油・重油の需要が減少したため、低調に推移した。またセメントが定期修繕の影響により減送となった結果、車扱全体では前年比97.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比99.0%となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	1-四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,410	5,431	99.6%
車扱	1,861	1,917	97.1%
合計	7,271	7,347	99.0%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	363	361	2	100.6%
	化学工業品	516	523	-7	98.6%
	化学薬品	362	361	1	100.4%
	食料工業品	979	977	2	100.2%
	紙・パルプ	676	736	-61	91.8%
	他工業品	395	396	-2	99.6%
	積合せ貨物	718	696	21	103.1%
	自動車部品	228	211	17	108.0%
	家電・情報機器	109	109	0	100.4%
	エコ関連物資	115	113	2	101.9%
	その他	949	947	2	100.2%
コンテナ計	5,410	5,431	-20	99.6%	
車扱	石油	1,238	1,263	-25	98.0%
	セメント・石灰石	276	291	-15	94.7%
	車両	185	194	-10	95.0%
	その他	162	168	-6	96.6%
	車扱計	1,861	1,917	-57	97.1%
合計	7,271	7,347	-76	99.0%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)